

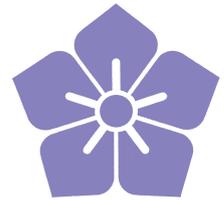
大和十三仏霊場団参旅行

平成17年11月8日～10日まで23名の参加者を得て、奈良県の十三仏をお参りしました。旅行中は天候にも恵まれ、古都の紅葉を背景にした由緒ある神社仏閣を参拝し、心身ともにリフレッシュされて帰ってまいりました。



福泉だより

金澤山 円能院 福泉寺



<7号>

真言宗 智山派
円能院
川崎小田



建築工事説明会

檀信徒の皆様に対しまして本堂の規模や様式、工事の進行等につきまして、説明会を開催いたします。

日時：二月四日(土) 午後二時より

会場：円能院 新観音堂



ご挨拶

新春を迎え檀信徒皆様方のご健勝とご一家のご安泰を祈念いたします。何分にも昨今の世相はまことに厳しく、連日報道されるニュースには、驚きと不安を覚えるばかりです。

新春を取りもどすことができよう努めようではありませんか。

特に未来ある幼児が生命を奪われた事件など、何とも憤懣やるかたない気持ちにさせられます。近年における社会環境の急激な変化が、人の心まで混乱させてしまったのでしょうか。悲しい限りです。

前号におきまして円能院本堂建立を中心とした建築に関する経過報告や基本構想につきまして、報告いたしましたがいよいよ本年四月から工事に着工いたします。これにより境内全域にわたりました関係作業を継続しなければなりませんので、二年間は何かご不便やご迷惑をおかけすることになります。

お互いに限りある生命を生き延びることへ思いをめぐらして、悲しみや喜びを共にできる心を持ちたいものであります。一日も早く明るい世の

このことにつきまして、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成十八年元旦
円能院住職 佐藤隆賢

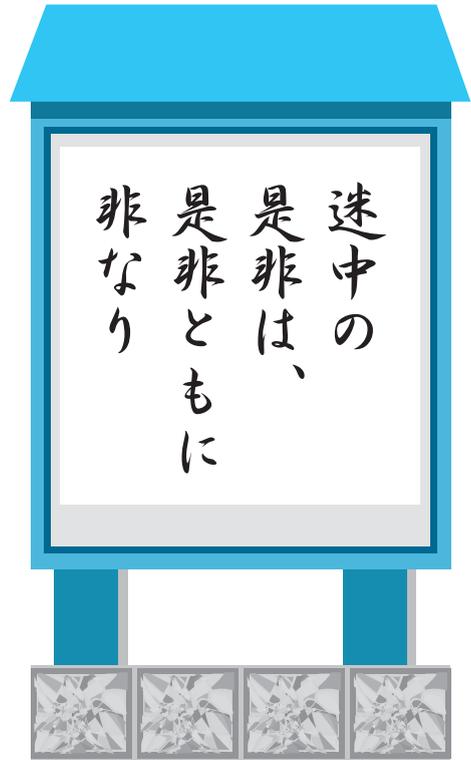


写経会・仏典読誦会について

本年は本堂建設工事のため

一月十四日（土） 午後一時～二時 写経会
二時～三時 法話会

の開催とし、以後の予定につきましては、改めてお知らせいたします。



この言葉は覚鑿（かくばん）上人が残された言葉です。

我々が「これが正しい」とか「間違っている」といっても、迷っている人間の判断は共に間違っているのだ、という厳しいお言葉です。

覚鑿上人は平安時代に活躍された学僧で、高野山の座主を勤められました。

しかし、厳格な性格の覚鑿上人は、山内の反対を受けて下山され、和歌山県の根来山に根来寺を建立されました。この根来寺が真言宗智山派と豊山（ぶさん）派の源流です。

江戸時代に上人の功績が認められ「興教大師」（こうぎょうだいし）の号を贈られました。円能院の本堂のご本尊に向けて左に覚鑿上人の尊像をお奉りしています。

康治2年（1144年）12月12日に遷化されました。12月12日は覚鑿上人のお徳を偲んで、本山智積院では毎年報恩講が開かれています。



建築期間中のお願い



建築工事が開始されますと、作業車の出入りや資材の保管のために境内狭隘となり、檀信徒の皆様にはご不便をおかけすることになります。

特に彼岸会やお盆をはじめ、当院の年中行事も従来のように執行することが困難になりますので、2年間の工事期間中のご不便をご理解願います。

編集後記

古代にあつては天体の動きに大きな関心をよせて、これが日常生活に、また政治に直接取り入れられてきました。

月の満ち欠け、日の出、日没、潮の干満などについての調査のもと、暦（こよみ）が創られて吉凶を占い、明日のよりよい生活に、また行政に利用されてきました。

このことは、今日の生活に欠かすことのできない七曜にも見ることがができます。

すなわち、日（太陽）と月を中心に、水星、金星、火星、木星、土星などの天体の動きと、自然や季節の密接な関係の中に人が生きていくことを教示しています。

まさに古代人の知恵が今に生きています。

発行所

金澤山 圓能院 福泉寺
川崎市川崎区小田
1丁目25番12号
電話/044(333)4476
FAX/044(366)6972

発行人

佐藤隆賢